29 周年を迎えて

The 29th birthday

まほろば主人

# インタヴュー「ご挨拶に代えて……」

## 29 周年を迎えて、どのような思いでいますか？

……　思い起こせば、発寒橋たもとのアパートでまほろばの産声を上げたのが、1983 年 12 月ですから、創業してから今年で足掛け 30 年になるんですね。
正式には、翌年 6 月に、西野 6 条 2 丁目で開店しましたから、来年まで一年待たねばなりません。来年 30 年は、大イベントになるのでしょうけど、きっと変わらなく、素通りして行くのでしょうね。
今まで、5 年、10 年、15 年、20 年、25 年とそれぞれの祝うべき節目があったのですが、一度として晴れがましいことをしたことがないんです。祝賀会とかは、全くご縁がなくて、何時もソッとそのままで来てしまいました。

何故かは、その時その時、祝うべき気持ちになれなかったと言うのが正直な本音かもしれません。何時も、まだまだ、まだまだという気持ちで、何時まで経っても、これでいいということがなかったのですね。それで、とうとう 29 年、30 年と来てしまいました。

## それは、どうしてなんでしょう？

……　長いと言えば長く、短いと言えば短く。成っていないと言えば成っていなく、出来ていると言えば出来ている。混沌として自分でも、正直分からない状況です。

その間、バブル時代が始まり、世の中は有為転変として、一つとして留まるということがなかったように思います。急成長したり、大発展したりするものは、不思議と急落するか、何時の間にか消えて行きました。

そんな意味合いからでも、当初から「小国寡民」というスローガンを掲げ、「小さくても本物を目指そう！」、「いやいや、本物は小さくあるべき！！」で、今まで来ました。到底、大きく出来る器でないから、そんな言い訳をしているのかも知れませんね。

でも何よりも、眼を外に向けて拡大することより、内部に向けて充実させる方が面白かった。そんなことが、エリクサー製造や、専務のインテグレード・マクロビオテック理論の創出に繋がったのだと思います。これらの哲学体系は、盛衰ということがないでしょうから。

## 従業員のみなさんは？

……　まほろばは、本当に何も無いところから始めたので、いつでも無くなる事に怖さはなかったと思います。しかし、小さくとも、今を懸命に生きて行こうという家内との二人三脚で始めた事が、いつの間にか、10 年 20 年の間に、一人増え、二人増えして、こんな所帯になってしまいました。みんなみんな素晴らしい人柄と能力を持ったスタッフたちで、そんな家族仲間が、今のまほろばを支え、なかなか挫 ( くじ ) けない結束力に成って行ったんだと思います。色々な大きな困難が、その節々にありましたが、不思議とスンナリと超えることが出来ました。あえて教育とか、研修とかしたことがなく、何かツー・カーで通じ合える仲間同士だからこそ、ここまでやって来れたんだと思います。

## お客様とはどうですか？

……　お客様とも、もう家族のようで、10 年 20 年・30 年来のお付き合いですから、本当に長いですね。

あのアパート店舗に来て頂いたり、行商したり、配達したりした創業当時のお客様が、今なお引き続いてお買い物に来てくださることは、本当に果報者です。

当時は、自然食品は一部の愛好家や病気の方しか知られていませんでしたが、最近とみに若い方、お母さんたちが増え、幅広い層になりましたね。

スーパーのようであっても、昔の街角の小売店のように、物を通して人と人との繋がりの場になっていて、「買い物が、癒しのスペースになっているヨ」と、聞くと本当に嬉しいですね。このお返しは、やはりより良いものを仕入れて、より安くご提供できるようにがんばるしかないと思っています。それが、まほろばの使命だと常日頃、自分に言い聞かせています。

## 最後に一言を？

……　赤字続きのまほろば自然農園の野菜も、経営的にはスゴク大変なんですけれど、私達の心を、お届けしたいという思いで、必死になって作らせてもらっています。作れども作れども、マカタしないんですが、でもやり続ける。

世間から見れば、この馬鹿さ加減、アホなところが、まほろばなんでしょうね。そんな、何か理屈では割り切れないものが、まほろばのイノチ、核心なのかもしれません。

そのわがままを許して下さっているお客様には、もう感謝以外の何ものもないんです。自分たちのやりたいことをやって、お客様に助けていただいていること、こんな幸せな人生、こんな楽しい店はないナ、と思っています。

本当に、みな様から、こんなに長い間、ご支援、ご愛顧いただいて……、失礼なんですが、この場を借りて、心からお礼申し上げたいと思います。

ご家族の方々が、いついつまでも、お幸せで、ご健康でありますように…。

ありがとうございました。